

# 平成27年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

## 目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

# 1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

<根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

## 有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』(収入と費用の差)は全て投下資金(借入金)の償還に充当します。

## 借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

## 償還準備金積立方式を採用

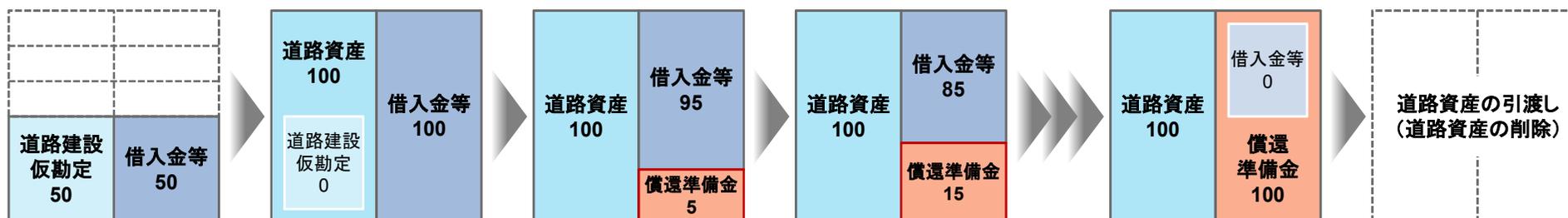
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

## 2. 償還準備金積立方式のしくみ

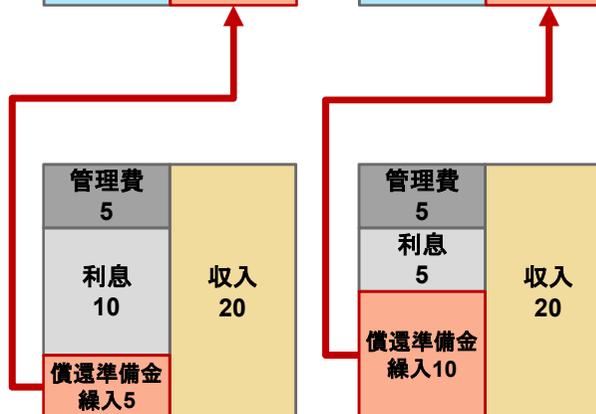
### 公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



#### ■ 貸借対照表



#### ■ 損益計算書



### 3. 収支状況

平成27事業年度損益計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

（単位：百万円）

費用の部				収益の部			
勘定科目	H27年度	H26年度	増減額	勘定科目	H27年度	H26年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	58,411	57,178	1,233	経常収益	58,461	57,228	1,233
事業資産管理費	13,542	12,574	968	業務収入	58,329	56,870	1,459
福岡高速道路管理費	9,262	8,537	725	道路料金収入	57,749	56,282	1,467
北九州高速道路管理費	4,176	3,934	242	(福岡高速道路)	40,732	39,595	1,137
福岡駐車場管理費	62	64	△ 2	(北九州高速道路)	17,017	16,687	330
北九州駐車場管理費	42	40	2	ETCマイルージ還元負担金収入	214	207	7
一般管理費	1,388	1,406	△ 18	(福岡高速道路)	190	184	6
一般管理費	1,253	1,256	△ 3	(北九州高速道路)	24	23	1
その他	134	150	△ 16	駐車場料金収入	216	219	△ 3
引当金等繰入	35,489	34,207	1,282	(福岡駐車場)	122	125	△ 3
道路事業損失補てん引当金繰入	2,674	2,606	68	(北九州駐車場)	94	94	0
(福岡高速道路)	1,886	1,833	53	その他	150	162	△ 12
(北九州高速道路)	788	773	15	受託業務収入	68	290	△ 222
償還準備金繰入	32,816	31,601	1,215	負担金事業受入金	18	16	2
(福岡高速道路)	24,251	23,260	991	業務外収益	45	52	△ 7
(北九州高速道路)	8,565	8,341	224	受取利息	6	6	0
受託業務費	68	290	△ 222	雑益 他	40	46	△ 6
負担金事業費	18	16	2				
業務外費用	7,906	8,685	△ 779				
債券利息	5,895	6,235	△ 340				
借入金利息	1,764	2,211	△ 447				
雑損 他	247	239	8				
当期利益金	50	50	0				
合 計	58,461	57,228	1,233	合 計	58,461	57,228	1,233

（注）端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、410億3,500万円(対前年度比11億4,500万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり4,489台の増加)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、167億8,400万円(対前年度比1億5,400万円の増)となりました。支払利息は残高金利の低下等により減少しましたが、老朽化対策による補修費等が増加しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、242億5,100万円(対前年度比9億9,100万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

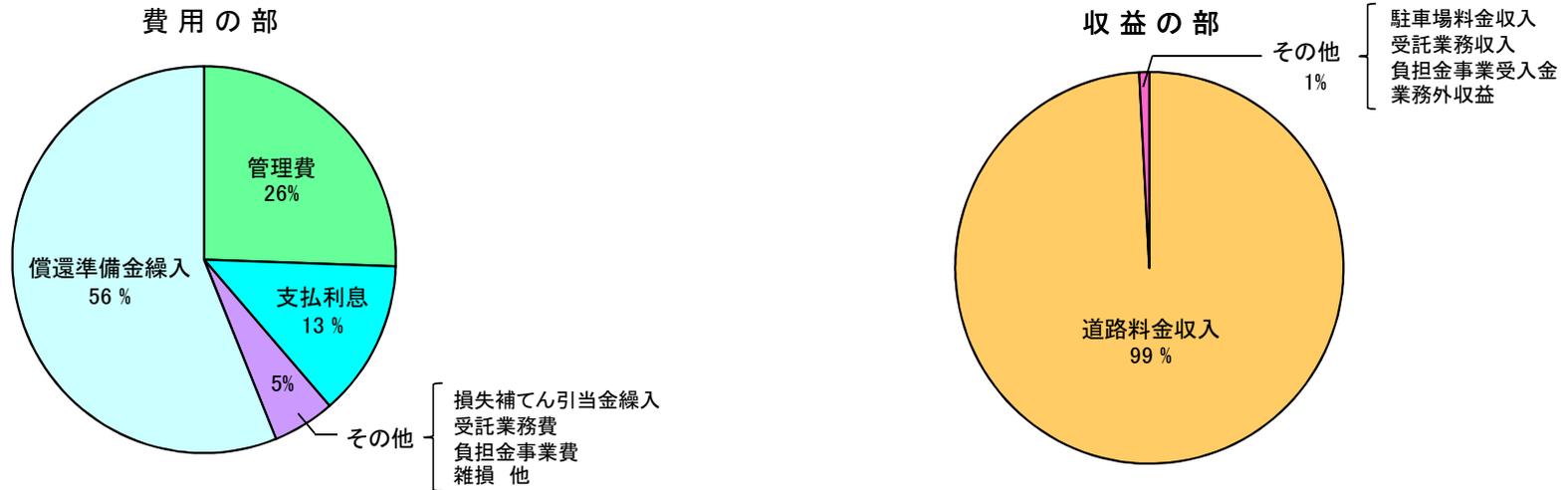
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、171億2,200万円(対前年度比3億1,000万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり1,461台の増加)
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、85億5,700万円(対前年度比8,600万円の増)となりました。支払利息は残高金利の低下等により減少しましたが、補修費等が増加しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、85億6,500万円(対前年度比2億2,400万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は5,000万円(対前年比増減なし)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



## 4. 営業中道路の収支状況(収支率)

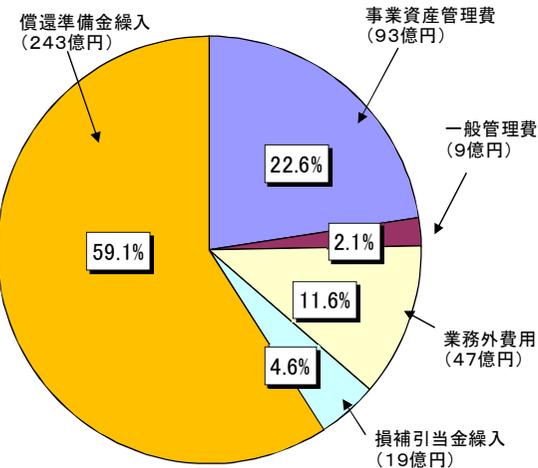
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

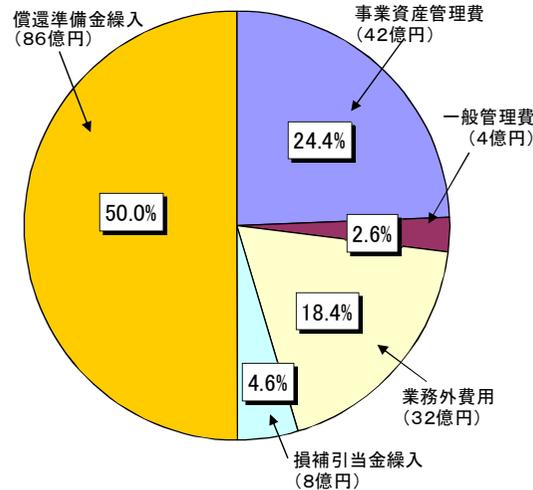
	福岡高速道路							北九州高速道路							合計									
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100
		事業資産管理費	一般管理費	支払利息等	損補引当金繰入	計 B				事業資産管理費	一般管理費	支払利息等	損補引当金繰入	計 B				事業資産管理費	一般管理費	支払利息等	損補引当金繰入	計 B		
H27	41,035	9,262	881	4,755	1,886	16,784	24,251	40.9%	17,122	4,176	443	3,150	788	8,557	8,565	50.0%	58,157	13,438	1,324	7,905	2,674	25,341	32,816	43.6%
H26	39,890	8,537	901	5,358	1,833	16,630	23,260	41.7%	16,812	3,934	445	3,320	773	8,471	8,341	50.4%	56,701	12,471	1,346	8,678	2,606	25,100	31,601	44.3%

(注)端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

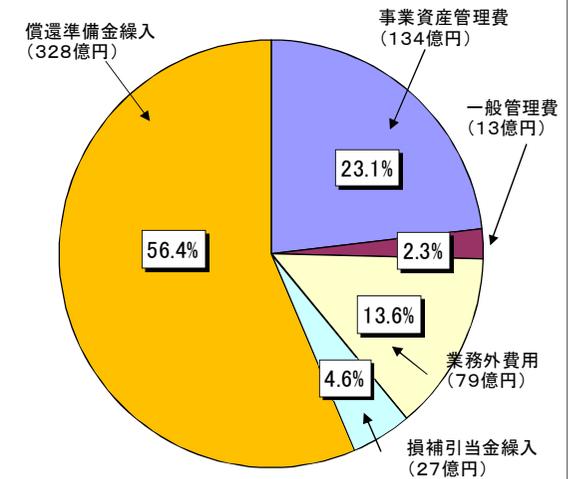
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合計(費用の内訳)



## 5. 財務状況

平成27事業年度貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H27年度	H26年度	増減額	勘 定 科 目	H27年度	H26年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
流動資産	5,814	5,749	65	流動負債	93,142	88,787	4,355
固定資産	1,250,650	1,249,103	1,547	固定負債	542,545	580,808	△ 38,263
事業資産	1,247,558	1,246,863	695	福岡北九州高速道路債券	322,800	333,800	△ 11,000
(福岡高速道路)	871,910	871,216	694	長期借入金	212,549	239,775	△ 27,226
(北九州高速道路)	375,648	375,647	1	退職給与引当金	149	197	△ 48
事業資産建設仮勘定	0	0	0	ETCマイレージ引当金	158	146	12
(福岡高速道路)	0	0	0	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0	特別法上の引当金等	399,381	363,892	35,489
有形固定資産	1,824	1,912	△ 88	道路事業損失補てん引当金	27,192	24,518	2,674
その他	1,268	328	940	(福岡高速道路)	7,334	5,448	1,886
繰延資産	880	860	20	(北九州高速道路)	19,858	19,070	788
				償還準備金	372,189	339,374	32,815
				(福岡高速道路)	321,307	297,056	24,251
				(北九州高速道路)	50,883	42,318	8,565
				(負債合計)	1,035,068	1,033,487	1,581
				基本金	221,298	221,298	0
				剰余金	978	928	50
				(資本合計)	222,275	222,226	49
資 産 合 計	1,257,343	1,255,712	1,631	負 債・資 本 合 計	1,257,343	1,255,712	1,631

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

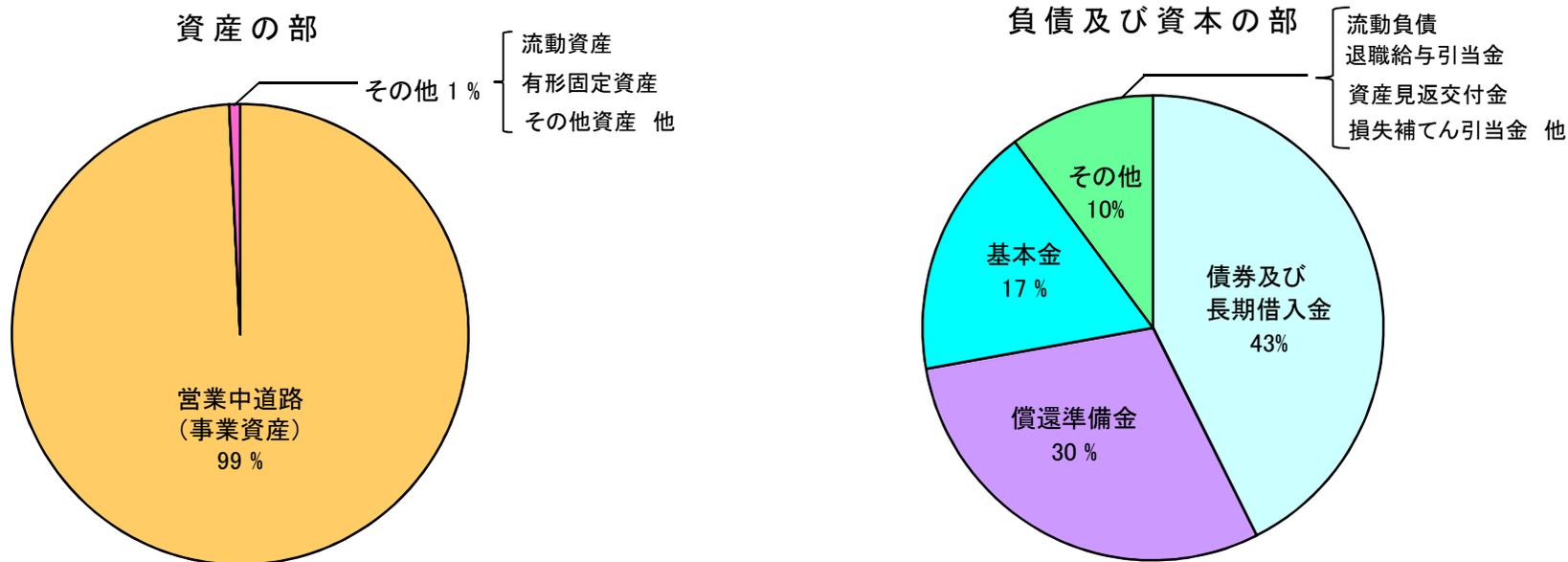
資産の総額は、1兆2,573億4,300万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,475億5,800万円で、資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,573億4,300万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金が6,238億7,500万円(流動負債計上分の短期借入金30億円と1年以内返済予定債券・借入金855億2,600万円及び固定負債計上分5,353億4,900万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が3,721億8,900万円(福岡高速3,213億700万円、北九州高速508億8,300万円)、地方公共団体からの出資金が2,212億9,800万円となっています。

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



## 6. 償還準備金の積立状況

### 【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H27	869,597	321,307	548,290	36.9%
H26	868,903	297,056	571,847	34.2%

### 【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H27	371,072	50,883	320,189	13.7%
H26	371,071	42,318	328,753	11.4%

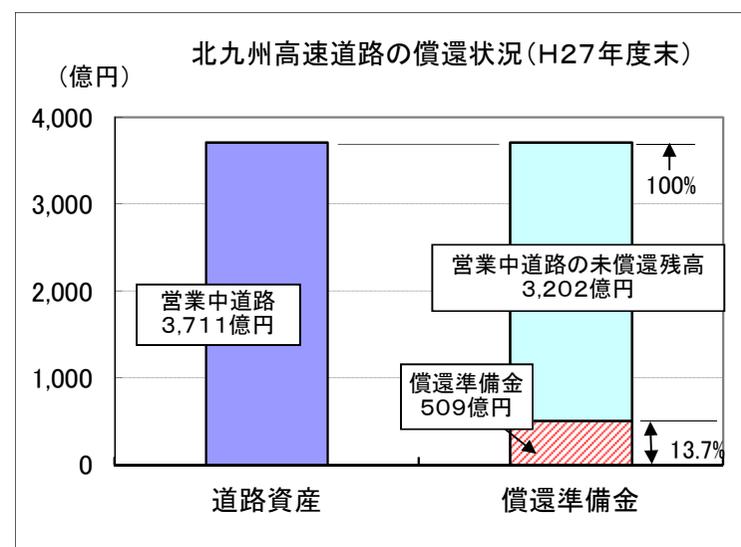
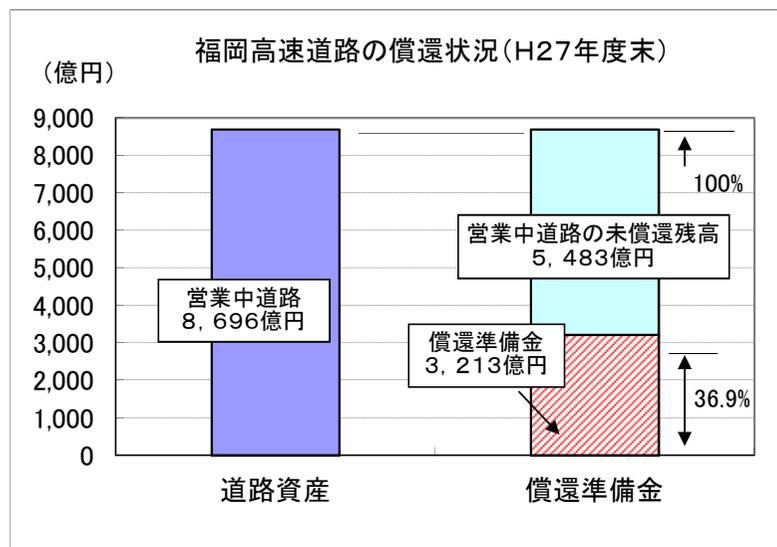
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	871,910	2,313	869,597
北九州高速道路	375,648	4,576	371,072



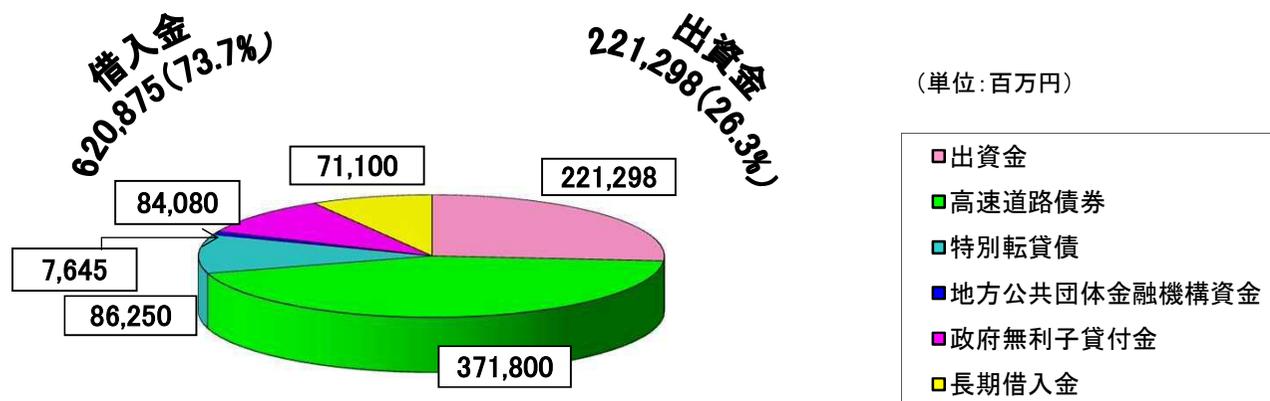
## 7. 長期借入金の残高状況

平成27年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H27年度	H26年度	増減額	H27年度	H26年度	増減額	H27年度	H26年度	増減額	
	A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B	
設立団体出資金	221,298	221,298	0	163,802	163,802	0	57,496	57,496	0	
借入金	高速道路債券	371,800	376,611	△ 4,811	202,898	211,709	△ 8,811	168,902	164,902	4,000
	特別転貸債	86,250	98,118	△ 11,868	70,861	79,747	△ 8,886	15,389	18,371	△ 2,982
	地方公共団体金融機構資金	7,645	8,684	△ 1,039	6,169	7,003	△ 834	1,476	1,682	△ 206
	政府無利子貸付金	84,080	99,488	△ 15,408	66,301	78,625	△ 12,324	17,780	20,863	△ 3,083
	長期借入金	71,100	71,800	△ 700	31,800	25,500	6,300	39,300	46,300	△ 7,000
	計	620,875	654,701	△ 33,826	378,029	402,584	△ 24,555	242,847	252,118	△ 9,271
合計	842,173	875,999	△ 33,826	541,831	566,386	△ 24,555	300,342	309,613	△ 9,271	

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



## 8. 償還計画と実績の対比

【平成27年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備 金繰入 (a-b)	償還準備金	事業資産 (交付金除 く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	582	148 (36)	27	79	253	328	3,722	12,407	30%
	計画	545	144 (20)	26	117	287	258	3,524	12,407	28%
福岡高速	決算	410	101 (26)	19	48	168	243	3,213	8,696	37%
	計画	358	98 (12)	17	69	184	174	2,973	8,696	34%
北九州高速	決算	171	46 (10)	8	31	86	86	509	3,711	14%
	計画	187	46 (7)	9	48	103	84	551	3,711	15%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

### ●償還計画の対比方法

実績(平成27年度決算)と対比するため、償還計画に対し、収支計算と損益計算の差額を加減算しました。  
償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しました。  
償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しております。

### ●損失補填引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補てん金の残高は平成27年度末で272億円となっています。

## 9. 平成26・27事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H27事業 年度 A	H26事業 年度 B	増減額 A－B
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当期償還準備金繰入	328.2	316.0	12.1
当期利益	0.5	0.5	0.0
減価償却費	1.2	1.4	△ 0.3
債券発行諸費等償却	1.6	1.7	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 1.7	△ 0.7	△ 0.9
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.1	0.2	△ 0.1
損失補てん引当金の増減額	26.7	26.1	0.7
債券利息	58.9	62.4	△ 3.4
借入金利息	17.6	22.1	△ 4.5
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	0.3	△ 5.3	5.5
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 12.2	14.9	△ 27.1
その他の増減額	0.0	0.3	△ 0.2
小計	421.3	439.5	△ 18.3
利息の受取額	0.1	0.1	0.0
債券利息等の支払額	△ 59.9	△ 62.8	2.8
借入金利息の支払額	△ 18.0	△ 22.3	4.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	343.4	354.5	△ 11.2
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
事業資産の取得による支出	△ 3.5	△ 15.2	11.7
建設仮勘定の取得による支出	△ 8.2	△ 6.6	△ 1.6
固定資産の取得による支出	△ 0.3	△ 1.1	0.8
事業資産等の売却による収入	0.0	0.0	0.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12.0	△ 22.9	10.9
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入による収入	30.0	20.0	10.0
短期借入金の返済による支出	△ 20.0	△ 20.0	0.0
長期借入による収入	92.7	79.7	13.0
長期借入金の返済による支出	△ 383.2	△ 396.6	13.4
債券の発行による収入	378.5	323.7	54.9
債券の償還による支出	△ 428.1	△ 340.0	△ 88.1
出資金の受入による収入	0.0	0.0	0.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 330.0	△ 333.2	3.2
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	0.0	0.0	0.0
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	1.3	△ 1.5	2.9
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	4.4	5.9	△ 1.5
<b>VII 現金及び現金同等物期末残高</b>	5.7	4.4	1.3

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	5.7 億円	4.4 億円	1.3 億円
現金及び現金同等物	5.7 億円	4.4 億円	1.3 億円

# 10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成27年度

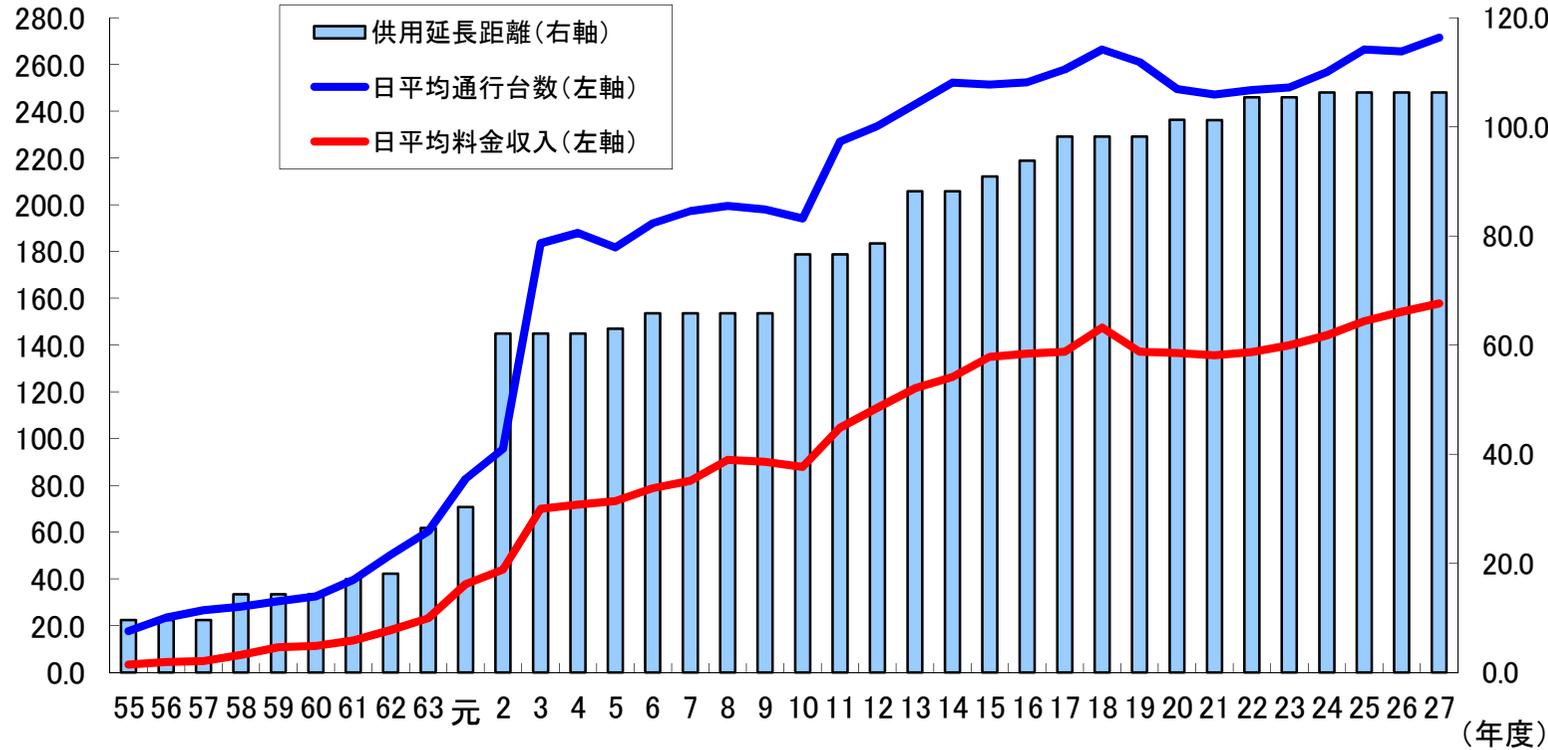
料金収入 **577億円**

日平均料金収入 **1.6億円**

日平均通行台数 **27.2万台**

日平均料金収入・通行台数  
(百万円・千台)

供用延長距離  
(km)



供用延長距離	
平成28年3月末現在	
106.3km	
料 金	
福岡高速	
普通車	620円
大型車1,	230円
北九州高速	
普通車	510円
大型車1,	030円

## 1 1. 供用実績

### 〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	-	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	-	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
				料金改定 (消費税3%転嫁)		
	H1. 10. 1	-	16. 5	名島本線料金所拡幅	1, 030	510
	H2. 12. 25	-	16. 5	東浜西出口		
H3. 3. 21	-	16. 5	名島出入口			
H4. 4. 23	-	16. 5	東浜西入口			
H4. 7. 1	-	16. 5	香椎東～香椎			
七次供用	H5. 4. 2	0. 9	17. 4	榎田～月隈北	1, 030	510
八次供用	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
	H9. 6. 1	-	20. 2	月隈～水城	1, 100	550
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	貝塚 J C T～粕屋		
				H12. 3. 28	-	31. 0
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)	1, 100	550
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C		
	H15. 5. 1	-	38. 7	料金改定	1, 200	600
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重	1, 230	620
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)		
	H26. 4. 1	-	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)		
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)							
		区間	累計		大型車	普通車						
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150						
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350						
	S59. 4. 21	-	6. 9	篠崎南出口								
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代 篠崎南入口								
				四次供用			S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑 (消費税3%転嫁)	720	360						
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸 東港 J C T～小倉駅北 西港出口 東港出入口廃止								
				七次供用			H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
											400	200
500	250											
600	300											
七次供用	H5. 4. 1	-	45. 6	料金改定	720	360						
				H7. 9. 30	-	45. 6	山路出入口	900	450			
				H9. 6. 1	-	45. 6	料金改定 (回数通行券料金)					
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1,000	500						
	H12. 11. 1	-	47. 1	料金改定								
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T								
十次供用	H18. 2. 26	-	49. 5	小倉東IC接続	1,030	510						
	H26. 4. 1	-	49. 5	料金改定 (消費税5%→8%)								
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17. 3. 31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18. 3. 4供用) 北九州高速全号線に、ETC導入 (H20. 11. 1) 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続 (H22. 12. 15)											

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合のみは同日です。